

平成 27 年度「協働推進人材育成事業

～NPO留学してみませんか～」について

1 事業概要

(1) 目的

市職員をNPO等市民活動団体に派遣することにより、実体験をとおしてNPO等に対する理解を深めるとともに、市民協働に関する理解や必要性の認識を高めることで、庁内で協働を推進する人材を幅広く育成すること。

(2) 内容

- ① 事前研修 市民活動団体についての説明や、派遣期間中のプログラムなどについての説明 (6/29 実施)
- ② 派遣研修 延べ5日間、職員をNPO等に派遣 (7～8月)
- ③ 報告会 派遣での経験や気づきを庁内で報告する (9/2 実施)

(3) 対象

課長職以下で、市民協働や市民活動に関心のある職員 6名 (公募)

2 受講者及び派遣団体

	受講者	派遣団体	活動内容
1	若林区街並み形成課 技師	NPO法人 あかねグループ	高齢者、育児支援活動
2	子供未来局認定給付課 主任	NPO法人 アフタースクールぱるけ	障害児・障害者への余暇活動支援、家族支援
3	都市整備局交通政策課 主査	市民スポーツボランティア SV2004	スポーツイベントのボランティア活動コーディネート
4	太白区衛生課 主任	NPO法人 ほっぷの森	知的障害者、高次脳機能障害者の就労支援
5	泉区家庭健康課 係長	NPO法人 ミヤギユースセンター	不登校の小中学生や高校中退者の自立支援
6	復興事業局震災復興室 主査	NPO法人 ワンファミリー仙台	路上生活者、生活困窮者への社会復帰支援

3 報告会

(1) 参加者

35名

(2) 内容

- ① 報告会 受講者から派遣での経験や気づき等の報告及び派遣団体からの感想・講評
- ② 意見交換会 市職員/派遣団体個別に、協働を進めるために互いに必要なことを議論したのち、市職員/受入団体/せんだい・みやぎNPOセンターの混成3グループで意見交換を実施。

4 今後の展望

職員研修所が実施しているNPOの1日体験研修を協働理解の導入編、5日間の派遣によってより深くNPOの活動や協働の必要性を理解できる本事業を実践(または中級)編と位置づけて実施した。今年度はモデル的に実施し、次年度以降は対象者を拡充していく予定である。